

2017年度 年末年始期間のご利用状況について

【12月28日(木)から1月4日(木)の8日間、優等列車利用同日比較】

年末年始期間のご利用は、前年と比べて帰省期間のご利用が好調だった影響により、合計で86千人(前年比101%)となりました。

同日比較

単位:人

	期間計(12/28~1/4)					
	上下計		下り		上り	
やくも号・サンライズ出雲 (伯備線)	49,395	101%	25,747	101%	23,648	100%
やくも号	46,996	101%	24,368	101%	22,628	100%
サンライズ出雲号	2,399	103%	1,379	102%	1,020	105%
スーパーはくと号 (因美線)	22,677	103%	11,529	103%	11,148	103%
スーパーいなば号 (因美線)	7,258	100%	3,745	100%	3,513	101%
スーパーおき号 (山口線)	6,935	100%	3,646	101%	3,289	99%
はまかぜ号 (山陰本線)	107	233%	28	127%	79	329%
合計	86,372	101%	44,695	102%	41,677	101%

※臨時サンライズ出雲号、臨時スーパーはくと号及び臨時はまかぜ号を含む

○ピーク日は以下のとおりでした。

 帰省のピーク 12月30日(土曜日)=8,260人

 Uターンのピーク 1月3日(水曜日)=8,341人

★近距離券売機発売枚数

○年末年始期間を通して主要駅の近距離券売機の発売枚数は、38千枚(前年比104.2%)でした。
(ICOCAを加味したご利用実績 前年比104.4%)

※主要駅とは、鳥取、倉吉、米子、松江、出雲市の各駅です。